



学校だより

桐里っ子

須坂市立井上小学校
平成26年6月25日
No. 3 文責：教頭 渋谷

6月の校長講話より ～働くということ～

今日はディズニーランドのお話をします。ディズニーランドには決まりがあって、普通のお店では「いらっしゃいませ」と言いますが、ディズニーランドでは「いらっしゃいませ」は使いません。「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言います。「こんにちは」と言われたら「こんにちは」と返しますね。このように返してもらえような言葉をディズニーランドでは使うのだそうです。

ディズニーランドは夢や感動をあたえる所だから、ゴミが落ちてはいけません。間違ってもポップコーンが道にこぼれていても、すぐにきれいになってしまうのです。それは、お掃除をするスタッフが300人いて、同じ場所を15分ごとに掃除をしているからです。雨が降っていても、同じ場所を15分ごとに掃除をしているので、ゴミが落ちていないのです。そして、夜中の12時から朝の7時まで夜に掃除をする方もいて、例えばトイレも「何でも口にしてしまう赤ちゃんがハイハイしても大丈夫」なくらい床掃除をするそうです。夜にお掃除をする役割の方を「ナイトカストーリア」といいます。ディズニーランドの役員で、北村さんという方もナイトカストーリアとして仕事をすることにしました。北村さんが夜中の3時に、ディズニーランドの或るトイレの前を通った時に、トイレから話し声が聞こえてきたそうです。北村さんが不思議に思って、そのトイレに行ったところ、若いナイトカストーリアがトイレの便器に向かって話しかけながらお掃除をしていました。北村さんは「どうして便器に向かって話しかけていたのか」と若いナイトカストーリアに聞いたところ、若いナイトカストーリアは「ぼくは、希望してこの仕事に就いたのだけど、やっているうちに、淋しいし、辛いし、情けなくなってきたのです。何度も辞めようと思いました。そして、そんな或る時にアメリカのディズニーランドへ行く機会があったのです。そこで出会ったナイトカストーリアが、ぼくに便器たちを紹介してくれるのです。彼は、便器の掃除をするときに「トム、今日はずいぶん汚れているね」「ジャックもだいぶ働いてくれたね」「ベリーずいぶんキレイになったよ」と話しかけながら掃除をしているというのです。彼らが、きれいになっていくのがとても嬉しくなるのだということです。ぼくは、彼の話しを聞いて今までの自分が情けなくなってきたのです。そして日本に帰ってきて、こうして頑張っているのです」北村さんは、この若いナイトカストーリアの話を聞いて胸が暖かくなってきたそうです。

皆さんは、このお話を聞いて、どう思いますか？この後、教室に戻りながら、自分の考えをまとめてみてください。

子ども達の活動に数々のお支え、ありがとうございます。

5年生の「田植え」からほぼ1ヶ月が過ぎました。地域の大勢の皆様にお世話をいただき、稲が青々と伸び、成長しています。3年生の「地域めぐり」でも、地域のことを教えていただきました。子ども達の笑顔が印象的な行事になり、地域の歴史や物に興味を深まりました。また、信濃グランセローズによる球技教室でも、選手の皆さんとふれ合いながら、投げたり打ったりキャッチしたりする運動に興味を持つことができました。7月中旬には、6年生が信州ブレイブウォリアーズの皆さんから指導を受ける予定です。PTA作業では、



普段では手の届かないところをキレイにさせていただきました。資源回収は12万円の収益となり、子ども達の教育環境を良くするための大切な資金を得ることができました。そして音楽会は、大勢の保護者の皆様や地域の皆様の参観をいただき、大きな励ましの中で一人一人が輝く音楽会になりました。数多くの支えをいただき有り難うございます。今後とも宜しく申し上げます。